

ビューティスペシャリスト科 教育課程

区分		履修科目名	1年		2年		合計			
			単位	時間	単位	時間	単位	時間		
必修科目	ビューティ基礎	講義	人体の構造及び機能学	1	30			1	30	
			皮膚科学	1	30			1	30	
			化粧品化学			1	30	1	30	
			色彩学	1	30			1	30	
			ブライダル概論	1	30			1	30	
		メイクアップ基礎(理論)	1	30			1	30		
		アロマセラピー基礎	2	60			2	60		
		ネイイル基礎	4	120			4	120		
		メイクアップ基礎(実習)	2	60			2	60		
		ヘアアレンジ基礎	1	30			1	30		
	着付け			2	60	2	60			
	メイクセラピー基礎	1	30			1	30			
	エステ基礎	3	90			3	90			
キャリア基礎力	講義	ビジネスと仕事の実践			1	30	1	30		
	サービス接遇	1	30			1	30			
必須科目計			19	570	4	120	23	690		
選択必修科目	メイク分野	講義実習	メイクアップ I (理論)	1	30			1	30	
			メイクアップ I (実習)	2	60			2	60	
			メイクアップ II			4	120	4	120	
			イメージメイク基礎	2	60			2	60	
			ブライダルメイク	2	60			2	60	
			撮影メイク			2	60	2	60	
			コスメティック販売実習	2	60			2	60	
			接客マナー実習(基礎)	1	30			1	30	
			接客マナー実習(応用)			1	30	1	30	
			メイクセラピー I	2	60			2	60	
			メイクセラピー II			2	60	2	60	
			解剖生理学 I	2	60			2	60	
			解剖生理学 II			2	60	2	60	
			メイクアップ特論 I			4	120	4	120	
	メイクアップ特論 II			2	60	2	60			
	小計	14	420	17	510	31	930			
	ネイル分野	講義実習	ネイイル I	4	120			4	120	
			ネイイル II	4	120			4	120	
			ネイイル III	2	60			2	60	
			ネイイル IV	2	60			2	60	
			ネイイル V			4	120	4	120	
			ネイイル VI			4	120	4	120	
			ネイイル VII			2	60	2	60	
			ネイイル VIII			2	60	2	60	
			ネイイル特論 I			4	120	4	120	
	ネイイル特論 II			2	60	2	60			
	小計	12	360	18	540	30	900			
	エステ分野	講義実習	解剖生理学 I	2	60			2	60	
			解剖生理学 II			2	60	2	60	
			解剖生理学(口述)	1	30			1	30	
			エステ(ボディ)	8	240			8	240	
			エステ(フェイシャル)			8	240	8	240	
			エステ特論 I			4	120	4	120	
			エステ特論 II			2	60	2	60	
	小計	11	330	16	480	27	810			
	選択科目	トータルビューティ分野	講義実習	ヘアアレンジ応用			1	30	1	30
				メイクアップ応用			2	60	2	60
				パーツケア実習 I			1	30	1	30
				パーツケア実習 II			1	30	1	30
				イメージメイク応用			1	30	1	30
		ビジネス基礎力分野	講義実技実習	サービス接遇特論	1	30			1	30
				基本 IT 技術			1	30	1	30
キャリアデザイン				1	30			1	30	
プレゼンテーション						1	30	1	30	
硬筆書写				1	30			1	30	
論理的思考力基礎				1	30			1	30	
ビジネス英語						1	30	1	30	
ビジネスマネジメント						1	30	1	30	
インターンシップ I						1	30	1	30	
インターンシップ II						1	30	1	30	
サロン運営 I						2	60	2	60	
サロン運営 II						2	60	2	60	
サロン運営 III						2	60	2	60	
イベントプロデュース				1	30			1	30	
企業研究				1	30			1	30	
ボランティア活動	1	30	1	30	2	60				
ソーシャルメディア活用概論			1	30	1	30				
選択科目計			7	210	20	600	27	810		
総計(必修+選択必修+選択)			メイク分野	40	1,200	41	1,230	81	2,430	
			ネイル分野	38	1,140	42	1,260	80	2,400	
			エステ分野	37	1,110	40	1,200	77	2,310	

卒業要件資格

- ・共通： JNA日本ネイリスト検定3級 JMA日本メイクアップ技術検定3級 アロマセラピー検定2級 サービス接遇検定3級
 - ・共通エステティック分野選択者： 国際エステティック連盟(INFA)ボディバースト試験
 - ・メイクアップアドバイザー分野選択者： JMA日本メイクアップ技術検定2級 **メイクセラピー検定2級**
 - ・ネイリスト分野選択者： JNA日本ネイリスト検定2級 JNAジェルネイル検定初級
- ※単位:90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし、校外学習などこれによりがたい場合は別途換算する。
 ※卒業の要件:必修科目23単位(690時間)及び選択必修科目と選択科目合わせて39単位(1170時間)以上、計62単位(1860時間)以上の履修

科目名	皮膚科学		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	皮膚およびその附属器官の構造、皮膚の循環系と血管の解剖と生理、皮膚と附属器官の一般的生理機能、皮膚と附属器官の保健ならびに疾病の概要等について学習する。							
授業の一般目標	皮膚は身体の表面を覆い、絶えず外部環境からの刺激にさらされている。そのため、内部諸臓器の保護のみでなく、外界からの情報の感知、身体適応など重要で多様な役割を果たしている。学生が将来美容界において指導的な役割を担うため、美と健康に関わる皮膚の科学的な正しい知識と技術を習得し、これを活用し実践する能力を身につける。							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行わない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	皮膚科学に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で皮膚科学について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	I 皮膚の概要(1)	①皮膚の役目 ②顔の成り立ち						
第2回	I 皮膚の構造(2)	②皮膚の表面 ③皮膚の断面						
第3回	I 皮膚の構造(1)	①表皮 ②表皮の役目						
第4回	I 皮膚の構造(2)	③真皮 ④真皮の役目						
第5回	I 皮膚の構造(3)	⑤皮下組織 ⑥皮下組織の役目						
第6回	II 皮膚附属器官の構造(1)	①汗腺 ②皮脂腺 ③毛 ④爪						
第7回	II 皮膚付属器官の構造(2)	①汗腺 ②皮脂腺 ③毛 ④爪						
第8回	III 皮膚の循環系と神経系	①皮膚の血管 ②皮膚のリンパ管 ③皮膚の神経						
第9回	IV 皮膚と附属器官の生理機能(1)	皮膚の生理機能7つ						
第10回	IV 皮膚と附属器官の生理機能(2)	皮膚の生理機能7つ						
第11回	V 紫外線と肌への影響	紫外線と皮膚の影響						
第12回	VI 皮膚科学まとめ(2)	グループワーク						
第13回	VI 皮膚科学まとめ(3)	グループワーク						
第14回	前期学習まとめ	質疑応答、演習試験その他						
第15回	期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上。 期末試験50%、提出物10%、グループワーク発表10%、中間試験30%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀(S):100点~90点
中間テスト	◎	○	◎				30	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度			○	◎			20	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/				

科目名	メイクアップ基礎(理論)		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	JMA検定教科書に沿い、メイクアップ理論・スキンケア理論の習得							
授業の一般目標	日本メイクアップ知識検定ベーシック 取得 皮膚科学理論及びスキンケア理論、色彩理論、メイクアップベーシック知識の習得。							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行わない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクアップ技術検定試験JMA公式テキスト 3級・2級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	オリエンテーション	授業のルールについて・授業の目標 検定試験について						
第2週	顔のパーツの名称・メイクアップツール	基本のパーツバランス、メイクアップツールの使い方について						
第3週	顔分析・肌分析	自分の顔を知る・肌を知る						
第4週	スキンケアの基本	スキンケア理論・それぞれの役割、種類						
第5週	メイクアップ基礎理論	メイクアップの効果・色彩						
第6週	ベースメイク理論	ベースメイクのそれぞれの役割・種類						
第7週	ポイントメイク理論①	アイブロウ・アイシャドウ・アイライン・マスカラの基礎知識						
第8週	ポイントメイク理論②	ハイライト・ローライト、チーク・リップの基礎知識						
第9週	修整メイクアップ①	顔型・顔バランスの修整						
第10週	修整メイクアップ②	目元・眉・口元の修整						
第11週	検定対策	総復習						
第12週	検定対策	模擬試験						
第13週	日本メイクアップ知識検定ベーシック試験	日本メイクアップ知識検定ベーシック試験						
第14週	期末試験対策	期末試験のポイント・復習						
第15週	期末試験	期末試験実施(実技・筆記)						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 日本メイクアップ技術検定3級取得を卒業要件とする (1)授業内で小テストを行う (2)課題・レポート提出をする (4)期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				70	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				10	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート								良(B):79点~70点
授業態度	◎	○	◎	◎			10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/				

科目名	メイクアップ基礎(実習)		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	JMA検定教科書に沿い、お客様にとって心地よいメイクの施し方を学習する。 メイクの技術の他に、道具の扱い方・身だしなみ・声かけ等も習得し、メイクアップの楽しさを学ぶ。							
授業の一般目標	JMA3級取得 スキンケアからベースメイクのテクニックの習得							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要のため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクアップ技術検定試験JMA公式テキスト 3級・2級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高める事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	1 ポイントクレンジング～ベースメイクが30分でできる。 2. 基本バランス合わせたリクルートメイクができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	オリエンテーション・化粧品の説明	授業のルールについて・化粧品検品・検定概要について						
第2週	セッティング・ポイントクレンジング	セッティング・ポイントクレンジング						
第3週	全体クレンジング・化粧水・プライマー	ポイントクレンジング復習・全体クレンジング、化粧水・プライマーの手技						
第4週	ベースメイク実習1	コントローラー・ファンデーションテクニック						
第5週	ベースメイク実習2	コンシーラー・フェイスパウダーテクニック						
第6週	チーク・ローライト・ハイライト	チーク・ローライト・ハイライト実習						
第7週	タイム計測・チークのバリエーション	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・チークのバリエーションについて						
第8週	タイム計測・アイシャドウ基礎	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・アイシャドウ実習						
第9週	タイム計測・リップ基礎	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・リップ実習						
第10週	JMA3級試験	JMA3級試験実施						
第11週	フルメイク実習①	宝塚メイク実習						
第12週	フルメイク実習②	リクルートメイク実習						
第13週	フルメイク実習③	トレンドメイク実習						
第14週	期末試験対策	期末試験のポイント・復習						
第15週	期末試験	期末試験実施(実技・筆記)						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 日本メイクアップ技術検定3級取得を卒業要件とする (1)授業内で小テストを行う (2)課題・レポート提出をする (4)期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		○		10	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○				20	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクセラピー基礎	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義/実習	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	必修	開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学、実技の授業 テキストの他、学習プリントで検定試験の出題ポイントを習得する メイクセラピーの知識と技術を習得する							
授業の一般目標	メイクセラピー検定3級合格 メイクによる心理的効果を学び、メイクが外的・内的の向上に役立つことを理解する メイクテクニックを習得し、オーダーに伴った印象にセルフメイク(印象管理)が出来るようになる。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクセラピー検定3級対策テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	セルフメイクでキャリア系・癒し系メイクができるようになる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	メイクセラピーとは	オリエンテーション メイクセラピーの目的・役割を理解する						
第2回	メイクセラピーの手法	メイクセラピーのカウンセリングの必要性						
第3回	顔と心と化粧の関係	表情・感情・化粧をする理由						
第4回	スキンケア概論	肌タイプ、表情筋、スキンケアについて						
第5回	カウンセリング概論	カウンセリングの意義や基本テクニックについて 小テスト						
第6回	カウンセリング実習	傾聴スキルを用いたカウンセリング実習						
第7回	メイクアップ概論	パーツバランス、印象について						
第8回	メイクアップ概論②	色彩、コスメティックの質感について						
第9回	3級対策	3級試験対策、小テスト						
第10回	3級試験対策(模擬テスト)	3級対策(過去問)						
第11回	メイクセラピー検定3級試験	メイクセラピー検定3級試験実施						
第12回	セルフメイク実習①	セルフメイク基礎(ポイントメイク)						
第13回	セルフメイク実習②	印象に伴うメイク(キャリア系・癒し系メイク)						
第14回	期末試験対策	1～13の復習						
第15回	期末試験	筆記試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、小テスト15%、提出物&授業態度点15%、を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				15	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	◎			15	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	ビジネスと仕事の実践		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	授業は座学・発表を中心とする。 社会人基礎力・セルフマネジメント力の向上を図るとともに、経営、マネジメントの視点を持つことで即戦力となる人材を目指す							
授業の一般目標	社会人としての基礎知識を学ぶとともに、セルフマネジメント力の向上を図る。経営、マネジメントの視点を持つことで社会人になる自覚を持つとともにビジネス感覚を養う							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ビジネスに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でビジネスについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	個人サロンを創造し、プロモーションができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業について・働く意義・仕事と職業の違いについて						
第2回	お金と仕事①	ライフプラン・生活設計・家計管理・給与明細の見方※特別講師						
第3回	お金と仕事②	契約・金融トラブル※特別講師						
第4回	社会人としての常識とマナー	社会人1年目までに備えるべき常識とマナー						
第5回	電話対応	電話を受ける・電話をかける						
第6回	クレーム対応基礎知識	クレーム対応について						
第7回	クレーム対応応用	クレーム対応について 小テスト						
第8回	ストレスについて	ストレスとストレスコーピング						
第9回	プレゼンテーションとは	プレゼンテーション基礎・説得力のある伝え方						
第10回	経営とは	ビジネス・経営について・PDCAサイクル						
第11回	マーケティング	マーケティングの基本的な考え方						
第12回	サロン起業1	繁盛店(個人サロン)を考えてみよう・事業計画書						
第13回	サロン起業2	繁盛店(個人サロン)を考えてみよう・DM作成						
第14回	プレゼンテーション実践	個人サロンをプレゼンテーション						
第15回	期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点以上、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)課題・レポートを作成し提出する (3)授業内で小テストを行う (4)授業内で発表を行う 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%以下のものには単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	◎				60	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎				10	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							5	良(B):79点~70点
授業態度							10	可(D):69点~60点
発表・作品					◎		15	不可(E):59点以下
演習								
出席			○					欠格条件
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクアップ I (理論)		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学中心の授業 メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などのメイクアップ知識の習得							
授業の一般目標	(1)日本メイクアップ知識検定アドバンス取得 (2)メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などのメイクアップ知識が説明できる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本メイクアップ知識検定アドバンス公式テキスト・問題集							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業に関するルール・JMA知識検定について・復習・知識確認問題						
第2回	顔の成り立ち①	骨格・筋肉・皮膚、皮膚の生理作用						
第3回	顔の成り立ち②	スキンタイプ・季節と肌 紫外線と肌						
第4回	顔の成り立ち③ 化粧品学	肌トラブルの原因 化粧品の定義						
第5回	顔バランスと印象	顔のバランス、肌色の印象 印象の分類						
第6回	メイクアップ理論①	メイクアップの効果 色彩とメイクアップ						
第7回	メイクアップ理論②	メイクアップの質感・形とイメージ・錯視効果						
第8回	メイクアップのテクニック	ベースメイク・ポイントメイク・メイクカラーの混色						
第9回	r	メイクアップの強弱とイメージのポイント						
第10回	顔分析と修整メイク	メイクアップのバランス調整・加齢による顔の変化とメイクアップ						
第11回	メイクアップ理論Ⅱ	光源とメイクアップ 男性の肌 アイラッシュ						
第12回	アドバンス試験対策	練習問題						
第13回	模擬試験	総復習 模擬試験						
第14回	日本メイクアップ知識検定試験アドバンス試験	検定試験実施						
第15回	期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを数回実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎		◎		20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点~60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクアップ I (実習)	単位数	2	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	1年生	開設期	半期			
区分	選択必修	開設時期	後期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・実技中心の授業(講師デモンストレーション・学生実習) メイクアップの基礎知識・ベーシック～応用技術・アイテムの知識・人間性・マナー・感性を土台に、能力の向上を目指す。JMA検定を学びながら、基本に忠実な本物の技術、顧客や社会のために誠実な思いを持って提供し喜びをもたらす職業としてメイクアップに携わることの尊さや誇り、美しさを志向します。							
授業の一般目標	(1)日本メイクアップ技術検定2級取得。 (2)モデルの顔分析をし、基本のバランスにフルメイクができるようになる (3)メイクアイテムを正しく理解し、用途に応じて使い分けができる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要のため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本メイクアップ技術検定試験3級・2級公式テキスト・YICオリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	1. モデルの骨格に合わせた基本バランスにフルメイクができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	オリエンテーション・復習・手技確認	授業に関するルール・JMA2級検定について 手技確認						
第2週	顔分析・ベースメイク	顔分析・ベースメイク・実技						
第3週	スキンケア実習	スキンケア・マッサージ ベースメイク応用						
第4週	ポイントメイク実習①	スキンケア～ベースメイク復習 アイブロウ実習						
第5週	ポイントメイク実習②	アイブロウ応用・アイメイク実習						
第6週	ポイントメイク実習③	目元応用 リップ チーク						
第7週	修整メイクアップ・2級通し	2級通しタイム計測・苦手箇所練習						
第8週	修整メイクアップ・2級通し	2級通しタイム計測・苦手箇所練習						
第9週	模擬試験	模擬試験実施						
第10週	日本メイクアップ技術検定2級試験	JMA 2級検定試験						
第11週	イメージメイク理論	イメージ4パターンカラーージュ作成						
第12週	イメージメイク 顔分析	顔分析・キュートORフレッシュメイク						
第13週	イメージメイク	顔分析・クールORエレガントメイク						
第14週	期末試験対策	顔分析をしモデルに合ったイメージにメイクをする						
第15週	期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを数回実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		◎		20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクセラピー I		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・実習・グループワークを取り入れた授業 化粧品療法の領域における援助法の一つとして、心理的な援助活動に必要な「心理学」「コミュニケーション」メイクアップに必要な「メイク理論」「色彩学」を学びメイクセラピーの概念を総合的に習得する 適宜視覚教材を利用							
授業の一般目標	メイクセラピー検定2級取得 メイクセラピーにおける心理学・メイク理論を習得し説明ができる 心理カウンセリングの手法を身に付け、傾聴しながら半顔にメイクが出来る。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要のため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクセラピー検定2級公式テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	傾聴をしながらオーダーに伴った印象に半顔にメイクで表現ができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	オリエンテーション・メイクセラピー的心理学①	メイクセラピー検定について メイクセラピーとは 精神分析と無意識						
第2週	メイクセラピー的心理学②・メイク実習	論理療法・交流分析・防衛機制 キヤリア系or癒し系メイク実習						
第3週	化粧品心理学①・メイク実習	化粧の歴史・役割・印象管理・ 求心OR遠心メイク						
第4週	化粧品心理学②・メイク実習	承認欲求と自己承認 オーダーに伴ったメイク						
第5週	カウンセリング概論・メイク実習	小テスト クライアントとの接し方 知的で大人っぽく仕事ができる印象メイク						
第6週	印象分析・メイクアップに必要な3要素メイク実習	パーツバランス・色彩・コスメティックスの質感 上品で優しく女性らしい印象メイク						
第7週	論述対策	事例に学ぶ・論述問題対策 明るく健康的で元気な印象						
第8週	2級試験対策・メイク実習	練習問題・論述問題対策・華やかでエレガントな印象				小テスト		
第9週	2級試験対策	練習問題(過去問) 論述問題対策・複数のオーダーから苦手なオーダーの練習						
第10週	2級試験対策	小テスト 練習問題(過去問)・出題傾向と注意点 複数のオーダーから苦手なオーダーの練習						
第11週	2級試験対策	メイクセラピー検定模擬試験(筆記・実技)						
第12週	メイクセラピー検定2級試験	メイクセラピー検定2級試験(筆記・実技)						
第13週	カウンセリング実習・メイク実習	オーダーカウンセリング～メイクアップ(半顔)						
第14週	期末試験対策	1～14回までの復習						
第15週	期末試験(筆記・実技)	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないもには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		○		20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクセラピーⅡ		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・ワーク・実習を中心とした授業 メイクセラピーテキストの他、サブテキストを参考に実技演習をしながら理解を深める。 検定試験の出題ポイントの習得の他、授業の振り返りも丁寧に行い自分で考えて伝える力も育てる。 適宜視覚教材を使い、接客時に必要な信頼関係の築き方の実例を学ぶ。							
授業の一般目標	(1)メイクセラピー検定1級取得。クライアントとどのようにしたら信頼関係を構築できるのか、心理学を応用したカウンセリング技術を習得。 (2)傾聴をしながら、クライアントのオーダーに伴った印象メイクアップができるようになる (3)授業で学んだ対人認知・印象管理などの技術を自分自身の就職活動・社会人生活にも活かせるように身につける。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要のため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクセラピー検定2級・1級テキスト・YIC京都オリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクセラピーについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	会話(傾聴中心)をしながらオーダーに伴った印象に半顔メイクができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション・感情について考えよう	オリエンテーション1級試験について・実技審査項目と採点基準・DVD視聴						
第2回	カウンセリングについて学ぶ	カウンセリングについて・自己理解と他者理解						
第3回	対話分析・メイク実習	対話分析・オーダーに伴ったメイク実習						
第4回	カウンセリング実習・メイク実習	ラポールの構築・傾聴スキルオーダーに伴ったメイク実習						
第5回	カウンセリング実習・メイク実習	要約・共感・承認・メイク実習(職業別オーダーメイク)						
第6回	カウンセリング実習・メイク実習	ペーシング・沈黙の処理 メイク実習オーダーに伴ったメイク						
第7回	カウンセリング実習・メイク実習	質問・ビジョン・フォロー メイク実習						
第8回	カウンセリング実習(伝える技術)	フィードバック・ジョハリの窓 メイク実習						
第9回	メイクセラピー実習	オーダーカウンセリング～フォローカウンセリング						
第10回	1級試験対策	論述問題・対話分析・メイク実習				小テスト		
第11回	1級試験対策	筆記・実技対策 出題傾向とポイント						
第12回	筆記・実技対策	1級試験の諸注意・ポイント						
第13回	1級模擬試験	1級模擬試験						
第14回	メイクセラピー検定1級試験	メイクセラピー検定1級試験(筆記・実技)						
第15回	期末試験	実技試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		60	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート								良(B):79点～70点
授業態度			○	○			20	可(D):69点～60点
発表・作品								評価なし 不可(E):59点以下
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクアップ特論 I		単位数	4	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	傾聴スキルを習得しクライアントのなりたい印象を引き出しオーダーに伴ったメイクができるようになる 今まで学んだ知識・技術を用いてメイクレッスンができるようになる。							
授業の一般目標	傾聴スキルを用いて会話をしながらメイクができるようになる。 今まで学んだ知識・技術を人に教えることができる メイク（スキンケア）講座を開講することができる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクアップについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	カウンセリングでなりたい印象を引き出し、オーダーに伴ったメイクができるようになる。複数人に対してメイクを教えることができる。							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	オリエンテーション	授業の目標・動画作成において						
第2週	動画の組み立て	導入・展開・まとめについて						
第3週	レッスン動画作成計画	役割決め・レッスン動画作成計画						
第4週	レッスン動画作成	メイクレッスン動画作成						
第5週	メイクレッスン動画作成	メイクレッスン動画作成						
第6週	メイクレッスン動画作成	メイクレッスン動画作成						
第7週	メイクレッスン動画作成	メイクレッスン動画作成						
第8週	メイクレッスン動画作成・メイク動画披露	メイクレッスン動画作成						
第9週	百貨店見学・コスメプレゼンテーション	百貨店見学・コスメ研究・プレゼンテーション実施						
第10週	期末テスト実施	期末試験実施						
第11週	サロン運営	スチューデントサロンを行う目的を理解し、他の授業との関連性を理解する サロンを運営する上での準備項目を共有認識する						
第12週	サロン運営	準備物の作成を行う DMの作成を行う サロンの一連の流れを考え、決定する						
第13週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第14週	サロン運営	サロン運営 ・組織の一員としてスチューデントサロン運営に積極的に参加する事ができ、目標を達成するために反省と修正ができる ・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第15週	サロン運営・振り返り	サロン運営についての振り返り実施、改善点を話し合う						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○		◎		50	秀(S):100点~90点
小テスト	◎				◎		20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート								評価なし 良(B):79点~70点
授業態度				○			10	可(D):69点~60点
発表・作品	◎		○		◎		20	不可(E):59点以下
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	サロン運営 I		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・ 現場実習・スチューデントサロンを計画し実施する							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の現場で臨機応変に行動ができる ・ お客様に満足していただける施術内容を考えて施術ができる ・ サロン運営の企画・運営を組織の一員として積極的に参加し、目標とした課題を達成する事ができる 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	接客に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で接客について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	オリエンテーション	評価方法・スチューデントサロンを行う目的を理解し、他の授業との関連性を理解する サロンを運営する上での準備項目を共有認識する・名刺作成						
第2週	サロン運営の概要決定	サロン運営をする上でのタイムスケジュールを決定する 準備物の確認をする 役割分担を決定する メニューを決定する 企画書を作成する						
第3週	サロン運営の広告方法とは	DM発送準備 ペーパーアイテム作成 ポスティング・施術見本作成						
第4週	サロン運営準備物の作成	サロンの一連の流れを考え、決定する 接客対応のシミュレーションを実施						
第5週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う						
第6週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う・技術チェック						
第7週	技術練習	サロンメニューの技術練習を行う・技術チェック						
第8週	プレオープン	プレオープン・オープンに向けての修整・改善を行う						
第9週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第10週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第11週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第12週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第13週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第14週	サロン営業	サロン営業・お客様に満足していただける施術と接客ができる						
第15週	入客・技術チェック	接客～施術まで						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点以上 (1)技術チェック (2)日報・レポート提出 (3)サロン運営貢献度 (4)授業態度 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%以下のものには単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
技術チェック	◎	◎	◎		◎		40	秀(S): 100点～90点
日報・レポート提出		◎	◎				10	優(A): 89点～80点
サロン運営貢献度				◎	◎	◎	40	良(B): 79点～70点
授業態度				◎			10	可(D): 69点～60点
出席							欠格条件	不可(E): 59点以下
担当教員	福本 真弓、他担当教員		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/				